

農林水産省 提出資料

1. 食品ロス削減国民運動に関する農林水産省における取組
2. (例) テーブルトップ版下
3. 食品廃棄物等の発生抑制目標値(案)
4. 食品ロス削減シンポジウム(3/26開催) リーフレット
「食べ物に、もったいないを、もういちど」

1. 食品ロス削減国民運動ロゴマークの決定



- 名前：ろすのん（性別 め）
 - ・食品ロスをなくす(non)という意味から命名
 - ・280件の応募の中から決定（平成25年12月）
- ろすのんのロゴセ：語尾に「のん」がつく
- 好きな食べ物：刺身のつま、パセリ
- 夢：食品ロスがなくなること
- 好きな言葉：残り物には福がある

食品ロス削減に取り組む企業・団体の皆さん、是非ご利用ください。（無料です！）

ロゴマーク利用許諾要領、利用許諾申請書等は、下記の農林水産省URLを御確認ください。

http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/index.html

2. ろすのんを活用した食べきり運動の例

農林水産省の職員食堂では、ポスターとテーブルトップ（三角柱）を設置し、職員に食品ロス削減の取組を呼びかけています。ポスターとテーブルトップの版下は、下記URLに掲載していますので、ぜひご利用ください。（このまま使用する場合、利用許諾などの手続きは必要ありませんので、どんどん使って頂いて結構です。）



↑
農水省内の食堂で食べきり運動に取り組む農林水産省職員



← ろすのんテーブルトップ（三角柱）

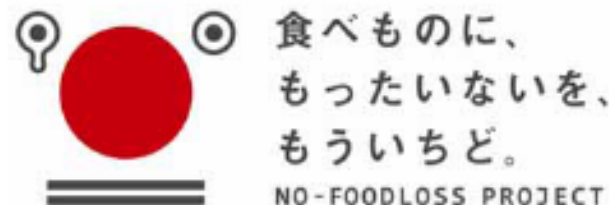
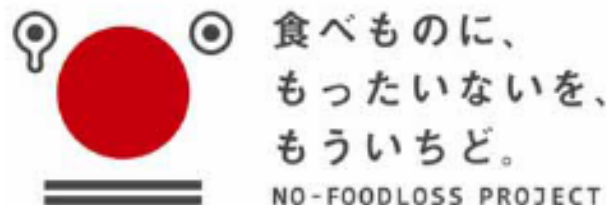
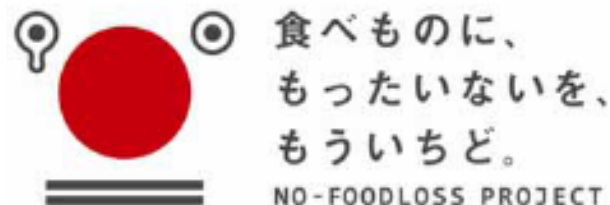
各農政局、地方自治体でも実施中。是非社員食堂等でご活用下さい。

ポスター、テーブルトップの版下は農林水産省HPにて公開しています。

ポスター：http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/pdf/rosunon_posuta.pdf

テーブルトップ：http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/pdf/sankakutyu.pdf

2. (例)テーブルトップ版下



食べもののもったいない話①

- ◇世界の食料の1/3にあたる約13億トンが毎年捨てられています。先進国は消費に近い段階で多く捨てられています。
- ◇世界の栄養不足人口は約9億人(8人に1人)。その6割はアジア。
- ◇食べものを捨てることは、その生産に使われた土地、水、エネルギーなどの貴重な資源も無駄になります。

農林水産省

食べもののもったいない話②

- ◇日本でまだ食べられるのに捨てられる食品ロスは年間500~800万トン！(世界全体の食料援助量の約2倍)
- ◇内訳は、家庭から200~400万トン、メーカー・スーパー・レストラン等の企業から300~400万トン！
- ◇日本は食料の6割を海外に依存し、世界の食料市場で他国の食料アクセスに影響を与える立場。

農林水産省

今日からできること

- ◇この食事を残さないでいただきます。
- ◇食べられる分だけ注文しましょう。
- ◇宴会の幹事になったら、食べきりの声かけをしましょう。
- ◇自分にできることから始めて、食品ロスを皆で減らす国民運動「NO-FOODLOSS PROJECT」に参加しましょう。

農林水産省

3. 食品廃棄物等の発生抑制目標値(案)

- 食品関連事業者にとって、食品廃棄物等の発生抑制は、取り組むべき最優先事項であり、コスト削減に貢献するとともに、「もったいない」という時代の要請にかなう取組であり、コスト削減に貢献。
- 食品リサイクル法に基づき、努力目標として「発生抑制の目標値」を設定し、16業種から先行して平成24年4月から試行的に2年間、暫定目標値という扱いで実施。
- 平成26年4月から対象業種を拡大して本格展開を予定（現在、目標値（案）をパブリックコメント中）。

■ 平成26年4月から本格実施予定の目標値（案）【目標値の期間 5年（平成26年4月1日～平成31年3月31日）】

暫定目標(16業種) ⇒ 本格実施(15業種)

肉加工品製造業	113kg/百万円	冷凍調理食品製造業	363kg/百万円
牛乳・乳製品製造業	108kg/百万円	そう菜製造業	403kg/百万円
味そ製造業	191kg/百万円	すし・弁当・調理パン製造業	224kg/百万円
しょうゆ製造業	895kg/百万円	食料・飲料卸売業(飲料を中心とするものに限る。)	14.8kg/百万円
ソース製造業	59.8kg/ t	食料・飲料卸売業(飲料を中心とするものを除く。)	4.78kg/百万円
パン製造業	194kg/百万円	各種食料品小売業	65.6kg/百万円
麺類製造業	270kg/百万円	菓子・パン小売業	106kg/百万円
豆腐・油揚げ製造業	2,560kg/百万円	コンビニエンスストア	44.1kg/百万円

※「旧区分」:平成23年度の食品多量発生事業者の定期報告の業種分類（食堂・レストランが1区分となっている）。

本格実施(11業種追加) ※旧区分の10業種に相当

水産缶詰・瓶詰製造業	480kg/百万円
野菜漬物製造業	668kg/百万円
食堂・レストラン(麺類を中心とするものに限る。)	175kg/百万円
食堂・レストラン(麺類を中心とするものに除く。)	152kg/百万円
居酒屋等	
喫茶店	108kg/百万円
ファーストフード店	
その他の飲食店	
持ち帰り・配達飲食サービス業(給食事業を除く。)	184kg/百万円
結婚式場業	0.826kg/人
旅館業	0.777kg/人

食品ロス削減シンポジウム

「食べものに、もったいないを、もういちど。」

共催：農林水産省、バイオマス資源総合利用推進協議会
後援：消費者庁、経済産業省、環境省

参加費無料

みんな来て
ほしいのん。



世界の穀物需給がひっ迫し、食料価格も上昇基調にある中、世界の生産量の3分の1にあたる13億トンの食料が毎年廃棄されており、食品ロスの削減は世界的にも大きな課題となっています。

また、食品ロスの削減に向けて、我が国の食品関連事業者においても、フードチェーン全体で食品ロスの原因の一つとなっている商慣習を見直していく取組が始まっています。

さらに、消費者が食品ロスに対する認識を高め、こうしたフードチェーンの取組を応援していくような環境を作るためには、「もったいない」意識を啓発していくことが重要であり、関係府省庁が連携し、官民をあげた食品ロス削減国民運動（NO-FOODLOSS PROJECT）を展開しています。

この国民運動を一層進めていくため、食品ロス削減シンポジウム「食べものに、もったいないを、もういちど。」を東京で開催します。

日時 平成 26 年 **3 月 26 日 (水)** 13:30 ~ 16:50 定員:500 名

場所 イイノホール 東京都千代田区内幸町2丁目1番1号

プログラム	
13:30 ~ 13:35	主催者挨拶（農林水産省）
13:35 ~ 13:40	来賓挨拶（経済産業省）
13:40 ~ 15:05	I 部 講演及び取組紹介
(13:40 ~ 14:05)	1. 食品ロス削減に関する意見交換会について 消費者庁長官 阿南 久 氏
(14:05 ~ 14:25)	2. NO-FOODLOSS PROJECT の推進について 農林水産省食料産業局バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室長 長野 麻子 氏
(14:25 ~ 15:05)	3. 食品ロス削減のための商慣習検討WTの検討結果について 公益財団法人流通経済研究所 専務理事 加藤 弘貴 氏
15:05 ~ 15:20	休 憩
15:20 ~ 16:50	II 部 パネルディスカッション テーマ「食品ロス削減に向けて」
	コーディネーター：東京情報大学 学長 牛久保 明邦 氏
	パネリスト：4 名 ● 東京家政学院大学 副学長 上村 協子 氏 ● 江崎グリコ株式会社 理事 グループ渉外部長 永井 延幸 氏 ● 株式会社イトーヨーカ堂 加工食品部 シニアマーチャンダイザー 井出 敬一 氏 ● 公益財団法人流通経済研究所 流通研究開発室 研究員 石川 友博 氏

http://www.jora.jp/25_syokuhin_sien/symposium.html

バイオマス資源総合利用推進協議会

食品ロス削減シンポジウム「食べものに、もったいないを、もういちど。」 参加申込書

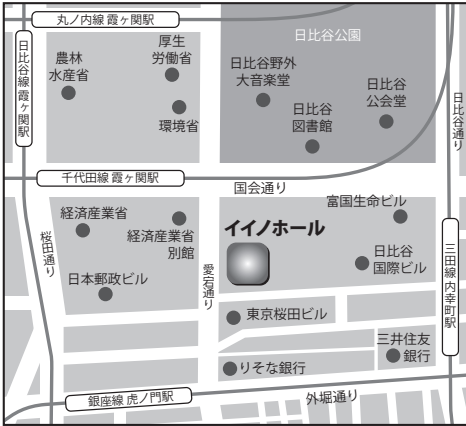
FAX でのお申し込み

FAX: 03-3297-5619

バイオマス資源総合利用推進協議会（一般社団法人日本有機資源協会内）宛

次のホームページアドレスからもお申し込みができます。

http://www.jora.jp/25_syokuhin_sien/symposium.html

■ 勤務先・所属団体		
■ 所属種別 ☑ チェックを入れてください	<input type="checkbox"/> 民間企業 <input type="checkbox"/> 市民団体・非営利組織 <input type="checkbox"/> 一般社団・財団法人 <input type="checkbox"/> 公益社団・財団法人 <input type="checkbox"/> 学校法人 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 報道関係 <input type="checkbox"/> 地方公共団体 <input type="checkbox"/> 官公庁 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
■ 連絡先住所	〒 ー 都 道 府 県	
■ TEL・FAX	() ー	() ー
■ メールアドレス	@	
■ 参加会場	<div> <p>■ 平成 26 年 3 月 26 日(水)</p> <p>■ イイノホール</p> <p>※申込締切：3 月 20 日(木)</p> </div> 	
■ 参加者（役職・氏名）	役職	氏名
		フリガナ
		フリガナ
		フリガナ

※ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムの受付業務及び本事業のアンケートに使用させていただきます。

お問い合わせ

バイオマス資源総合利用推進協議会 TEL: 03-3297-5618 FAX: 03-3297-5619

〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 401 一般社団法人日本有機資源協会内 担当：嶋本・出越

詳しくはWEBで

http://www.jora.jp/25_syokuhin_sien/symposium.html